

ジオ ツアーのご案内

「古倶知安湖をめぐる」

ー4.8 万年前の湖沼堆積物、羊蹄山火山噴出物、羊蹄山の湧水などを学ぶー



倶知安盆地について、「行ってみよう!道央の地形と地質 前田 寿嗣/著」の中に、陸上自衛隊倶知安駐屯地の西側斜面の縞状粘土層からなる湖沼堆積物が紹介されており 2019 年に現地確認し、静かな湖に泥が堆積している様子をイメージしました。標高 200m 付近にある土取り場では、斜層理を示す前置層とその上位にほぼ水平な頂置層が確認でき、古倶知安湖に三角州が形成されていく様子がとらえられます。倶知安盆地の中央付近には標高 220m の平坦面が広がっており、標高 210m 付近に泥炭層を確認できます。

湖沼堆積物（真狩別層）の標高が異なる 3 地点から採取した地質試料の ^{14}C 年代測定では、48,050-46,750cal BP から 44,500-43,750cal BP の値が得られました。（文献：嵯峨山他、総合地質・第 5 巻・第 1 号・2021 年）。羊蹄山の崩壊（約 3.8 万年前）よりも古いことから、古倶知安湖出現には他の地質現象を推定する必要があります。

また、羊蹄山の山麓には十数カ所の湧水が知られており、代表的な京極噴出し公園や道路脇の羊蹄山溶岩流の露頭を観察します。

国土地盤情報センターの地盤情報データベースには、倶知安町及びその周辺、北海道新幹線や後志自動車道関連の多くのボーリングデータが収録されており、古倶知安湖の形成を裏付ける情報が期待されます。

現時点では、古倶知安湖形成以前の地形、古倶知安湖が何処でいつ堰き止められて形成されたのか、未解明なことが残されていますが、地層の成り立ちについて皆様と共に学ぶために、今回の巡検を企画しました。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

実施日：2024 年 8 月 31 日（土）

見学地点と見どころ：

- Stop 1 京極・吹き出し公園。湧水
- Stop 2 羊蹄山溶岩（バス内から）
- Stop 3 羊蹄山火山角礫（バス内から）
- Stop 4 尻別川河岸から、対岸斜面を観察
- Stop 5 土取り場。支笏火砕流の二次堆積物の斜層理、頂置層
- Stop 6 湖沼堆積物と褶曲構造。法面保護されているので、既往写真、スケッチによる説明
- Stop 7 倶知安風土館：トイレ休憩、倶知安の歴史

Stop 8 泥炭層 古俱知安湖埋積時

Stop 9 赤井川道の駅：トイレ休憩、道の駅を出てすぐに北海道新幹線のトンネル坑口

案内者： 関根 達夫 氏

岡 孝雄 氏

星野 フサ氏

費用（バス代+資料代+保険料）： 3,000 円（保険料込み）

学生（中～高校生）：2,000 円、ご夫妻参加：4,000 円（資料1部）

※お釣銭のないようにご準備いただけると助かります。

※保険内容（53 円/一人、最高保障 1,000 万円）

申込み先： 米道 博（最終間氷期勉強会共同代表）

E-mail h-yonemichi@kmh.biglobe.ne.jp Fax 011-681-6304

申込み締切： 8 月 17 日（土）

お申込みには参加者全員のお名前、連絡先（できれば携帯電話）をお書きください。

募集定員： 40 名（バス利用のため定員があります）

集合場所： 地下鉄真駒内駅（駅を出て左側前方）・・・参加者には改めて地図を送付いたします。

集合時間： 午前 8 時 25 分、8 時 30 分出発（時間厳守にご協力ください）

※参加者には改めて地下鉄の時刻表（札幌→真駒内）を送付いたします。

解散場所： 札幌駅北口（※出発地と解散場所が別なので、ご注意ください）

解散時間： 午後 5 時 30 分頃予定（札幌駅北口近辺で反省会を予定しています）

ご留意： ・昼食は原則持参です。

・雨天決行です。（雨具のご用意を。大雨等により中止の場合は、当日早朝に連絡いたします。連絡のつかなかった方には、集合場所においてお伝えします。）

・時節柄、暑さ・熱中症対策（水分補給）をお願いいたします。

・ネジリ鎌があると便利です。

・バスを汚さないようご配慮願います（長靴の履き替え、収納袋の用意等）。

・トイレタイムは次の地点を予定しています。

① 道の駅「中山峠」 : (9:30 時頃)

② 道の駅「京極噴出公園」 : (10:30 時頃)

③ 俱知安風土館 : (13:30 時頃)

④ 道の駅「赤井川」 : 帰路 (15:00 時頃)

主 催：最終間氷期勉強会 ・石狩沖積低地研究会

共 催：地学団体研究会北海道支部

北海道総合地質学研究センター（HRCG）